

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立佐用高等学校体育館 Dコート

試合区分: No. 206 成年女子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 高橋 尚裕

開始時間: 13:30

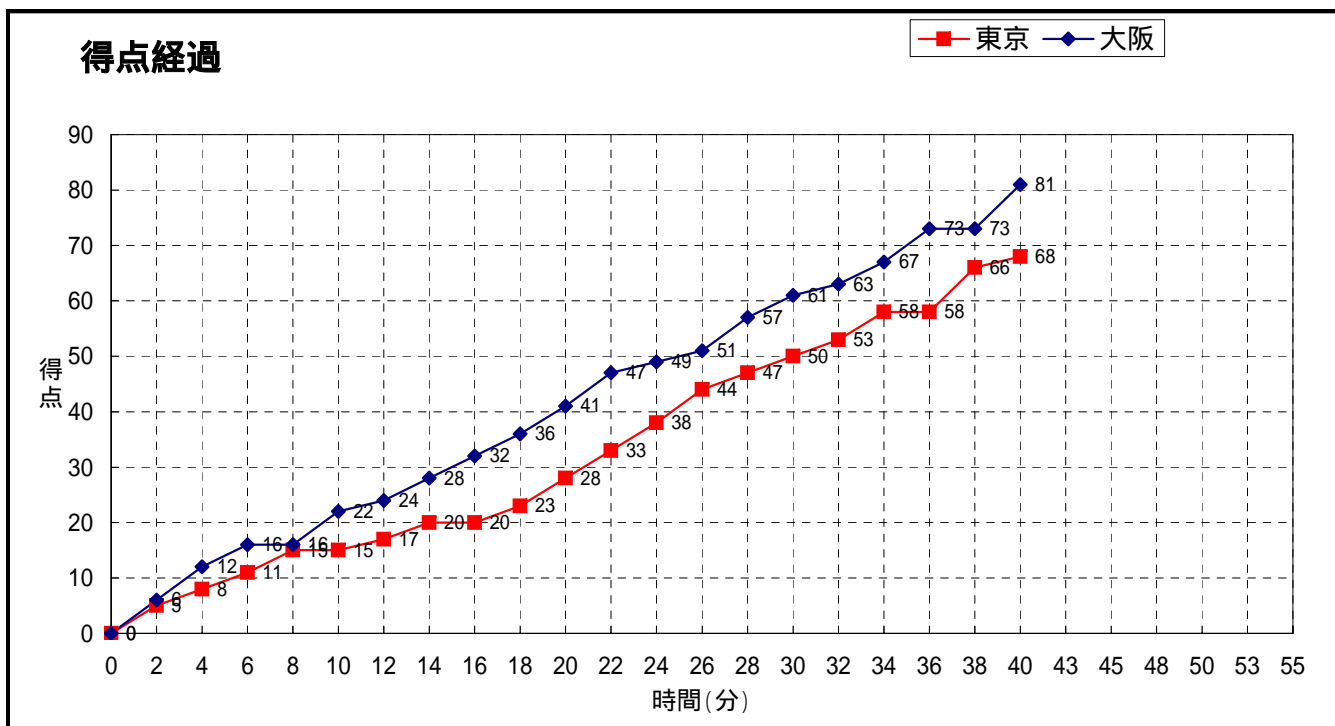
副審: 細見 克弘

終了時間: 15:04

入場者数: 386

大阪						東京									
81						68									
(近畿)						(関東)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	川上 奈恵美	11	1	4	0	2	4		青山 恵美	3	1	0	0	0
5		小川 菜実子	-	-	-	-	-	5	*	楠田 亮子	13	0	5	3	2
6		後藤 香奈	0	0	0	0	1	6	*	曹 浩子	6	0	3	0	3
7	*	足立 加奈子	8	0	4	0	2	7	*	葛西 亜希子	17	5	0	2	4
8	*	田村 真理子	6	0	2	2	2	8	*	渡辺 由香	5	0	2	1	2
9		川西 友子	12	0	5	2	2	9		根津 直美	0	0	0	0	0
10	*	西村 ちよ	16	0	8	0	4	10		中原 充子	-	-	-	-	-
11		梅澤 裕貴	0	0	0	0	1	11		伊佐地 敦子	-	-	-	-	-
12		堀部 涼子	8	0	4	0	3	12	*	伊藤 久美子	6	0	2	2	2
13	*	山口 祐理子	16	0	6	4	2	13		清水 萌	0	0	0	0	0
14		杉中 悠香利	4	0	2	0	0	14		渡邊 芳美	0	0	0	0	0
15		三宅 史恵	0	0	0	0	0	15		伊藤 奈々	18	4	3	0	2
コーチ		田尻 肇						コーチ		石田 宏司					
		合計	81	1	35	8	19			合計	68	10	15	8	15

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、ともに身長のある選手を中心に、#5楠田のポストプレー主体に攻める東京と、ゴール前での鋭いパス回しからのカットインプレーで攻める大阪との得点争いとなった。開始1分、大阪は#4川上への速いパスから先制ゴール。会場にどよめきが起こる。一方東京は、ゆったりとした展開からポストプレーやドリブルインなどで追い上げ、残り2分、いったんは1点差とするも、大阪が22-15とリードして終了。
 第2ピリオド、東京はゴール前での大阪のディフェンスの厳しさに攻めあぐむ。対して大阪は、#12堀部から#13山口への絶妙なパスからのゴールや、スローインからのセットプレーで、着々と加点。残り1分を切ってから、東京は#15伊藤(奈)が、大阪も#4川上がともに3Pシュートで点を取り合い会場を沸かせたが、結局、41-28と大阪13点のリードで前半終了。
 第3ピリオド、東京は#8渡辺、#5楠田を中心に攻め、さらに#15伊藤の3Pシュートなどで粘り強く反撃。残り5分には#7葛西の速攻で6点差に迫る。大阪はたまたずタイムアウトをとり、流れを呼び戻そうとする。その後、緩急をつけた攻めが功を奏し、残り2分、大阪は再び10点差とする。東京も終了間際に#7葛西の3Pシュートで追いすがり、61-50と大阪11点リードで終了。
 第4ピリオド、東京は3Pシュートを効果的に使って反撃に出る。残り4分あたりまでともに点を取り合う展開になったが、残り3分から、#6曹の連続ゴール、#7葛西の3Pシュートと、東京は執念の追い上げを見せ、会場を沸かせた。対して大阪は、いったんは8点差とされるものの、最終的に81-68と終始リードを保って勝利した。

担当者: 辛川 充伸(のじぎく兵庫国体佐用町実行委員会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会